

第16回宇宙安全保障部会 議事要旨

1. 日時

平成28年9月26日（月） 14:00～16:00

2. 場所

内閣府宇宙開発戦略推進事務局大会議室

3. 出席者

(1) 委員

片岡部会長代理、折木委員、白坂委員、名和委員、山川委員

(2) 事務局

宇宙開発戦略推進事務局 高田事務局長、佐伯審議官、松井参事官、行松参事官、高見参事官、佐藤参事官、守山参事官

(3) 関係省庁

内閣官房国家安全保障局 吉田審議官
防衛省防衛装備庁プロジェクト管理部 飯島調整官

4. 議事要旨

(1) Xバンド衛星通信中継機能等の整備・運営事業について

Xバンド衛星通信中継機能等の整備・運営事業について、資料1に基づき、防衛省より説明を行った。当該説明に対して、委員から以下の質問があった。（以下、○質問等、●関係省庁の回答）

○今回のXバンド衛星1号機の打ち上げ延長の影響で、防衛省として運用に空白期間は生じないのか。

●現在運用中の民間衛星の設計寿命の中で運用延長が可能であることから、特に防衛省の運用に空白が生じることはない。

○今回の輸送中の事故は、コンテナの与圧に問題があったとのことだが、本件の保障をどこが負うことになるのか。

●防衛省としては、輸送に関しても保険をかけていることから、現在保険会社の方で、今回の輸送方法の妥当性に関し調査しており、その結果を踏まえて責任が明確になる予定。

(2) 宇宙システム全体の抗たん性強化の進め方について

宇宙システム全体の抗たん性強化のコンセプト及び今年度実施する抗たん性強化に関する委託調査の実施項目について、事務局より説明を行った。当該説明を踏まえ、委員から以下の質問があった。（以下、○質問等、●事務局の回答）

○抗たん性強化のコンセプトを作成するにあたって、NISCの取組を参考にしているが、産業界が行っている制御システムのセキュリティ・ガイドラインなども参考になる。

○宇宙基本計画工程表の中に示されている成果目標には、同盟国を含めて抗たん性強化を検討するとなっているが、今回のコンセプトの案にはその観点が抜けているのではないのか。

●今回示した資料には同盟国との連携の観点が入っていないが、今後そういった観点も考慮に入れて、コンセプトを作成していく。

○抗たん性強化の委託調査で行うのは、主に現状に対する調査なのか、あるいは将来我が国の宇宙システムがどうあるべきかという観点も含めた調査になるのか

●基本的には、我が国の宇宙システムの現状を踏まえた調査になる。ただ、この調査結果を踏まえたうえで、将来のあるべき姿なども検討していくことになる。

以上